

目的・概要

**「歩きやすい環境整備」から「歩きたくなるダイナミック都市空間」への
トランスフォーメーションを共創**

事業主体：慶應義塾大学SFC研究所

居住者と来街者、子育て世帯や高齢者など多様な歩行者が共存するスマートな駅まちを目指し、デジタルエリアマップの上で共に学び、調べ、語り合い、誰もが歩きたくなる都市空間を共創する。

【推進体制】

<構成メンバー>

- 学：慶應義塾大学 SFC研究所
- 官：品川区
- 民：特定非営利活動法人まちづくり大井

取組

NPOまちづくり大井

- ・大井町エリアの居住者・来街者
- ・地元商店、事業者など

品川区

- ・事業推進のアドバイス
- ・区の施策との整合性の調整など

まちづくり先進地域との交流、
本地域の取り組みを計画・発信

まなぶ

まちづくりの講座を開き、
幅広く住民や事業者へ
発信し、学び合う場を
提供する

しらべる

街中でまちづくりに関連
するデジタル技術を試し、
活動に関心のある方を
誘う

地域主体の街歩き調査により、
2D&3D街歩きマップの作成・発信

交流と共創
の場の形成

好循環

区内外への
情報発信

開発事業に合わせて、新旧市街で回遊
性の高い歩行者空間の実現を支援

つくる

まちづくりワークショップを
通してプロジェクトの実
践し、共創事業を具体
化する

みせる

居住者、来街者の動き
を捉え、人流に関心
がある事業者等の参加
企業を巻き込む

人流データによる歩行者特性の
抽出とまちのリズムの見える化

Future City Design School (FCDS)*の開設

2024	2025	2026
デザインスクールの開設	→	スクールの運営
2D/3Dデジタルデータ基盤の検討	→	スクールの発展
ウォーカブルシティの事例蓄積	→	整備と活用
	→	効果の共創と発信
	→	ウォーカビリティ指標づくり
	→	ウォーカビリティづくりの指針

慶應義塾大学
SFC研究所

- ・地域に開かれたスクール運営
- ・資金管理と必要な資金・リソースの調達
- ・学生や専門家の研究活動支援

* FCDS: デジタルエリアデザインを学び、まちづくりの共創を育む場

デジタル技術と地域資源を融合し、人々のウェルビーイング (well being) の創出に資する未来型まちづくりモデルを提示する

※支援期間：交付決定の日から令和9年3月31日まで

